



## 厳粛かつ温かな感動に包まれて —第5回 卒業式—



春の訪れを感じる良き日に、本校にて「第5回 卒業式」が挙行されました。9年生にとって、義務教育9年間の集大成となるこの日は、卒業生の日頃の誠実な心が表れた、感動的で、素晴らしい式典となりました。

校長(私)による式辞では、これから新たな世界へ羽ばたく卒業生へ「自立」と「自律」の二文字を贈りました。自らの一歩を踏み出し(自立)、自ら道を選ぶ(自律)ことの大切さを説く思いや考えを卒業生は真剣な眼差しで耳を傾けてくれました。ありがとう。

また、PTA会長からは「これからの人生で困った場面に直面したとき、自分の思いをしっかりと言葉で伝えられる人になってほしい」という、社会を生き抜くための温かいエールが送られました。

在校生代表による「送辞」では、先輩方一人一人が築き上げた功績への感謝が述べられ、その絆の深さに会場が温かな空気に包まれました。

それに応える卒業生代表の「答辞」では、これまでの学校生活を共に歩んだ仲間たち一人一人に語りかける



場面があり、会場のあちこちで涙を拭う姿が見られる感動的なものとなりました。母校を思う愛情あふれた素晴らしい答辞でした。

式の最後、保護者代表あいさつでは、学校への感謝と共に卒業生への熱いメッセージが語られました。



特に、3年間学級担任として苦楽を共にしてきた9年生担任に向けた「感謝と労いの言葉」には、会場全体が大きな感動に包まれ、涙が溢れる一幕もありました。

厳粛な中にも、美郷北義務教育学校らしい「世代を超えた絆」と「思いやり」が溢れる、最高の門出となりました。9年生の皆さんの未来が、光り輝くものであることを、全校園児・児童生徒、職員一同、心より願っています。卒業おめでとうございます。



## 宇納間地蔵大祭へご協力 本当にありがとうございました。!



※裏面に続く